

令和5年度

社会福祉法人茅野市社会福祉協議会事業報告

I 総 括

少子高齢化や核家族化の進行、人間関係の希薄化、生活様式や働き方の変化等に伴って地域社会は大きく変容するとともに、社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、権利擁護の問題など、地域における生活課題は深刻化しています。こうした今日的な「地域生活課題」を受け止め、その解決に向けた取組を進めるためのきめ細やかな福祉が強く求められています。

本会では、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、多くの方々から福祉への理解と参加を得ながら関係する団体・機関及び茅野市との協働による小地域福祉活動の推進の他、各種日常生活支援・在宅福祉サービスなどの受託事業も数多く担いました。加えて、「令和6年能登半島地震」においては、富山県氷見市災害ボランティア・支え合いセンターへの職員派遣や災害ボランティアバスパック等被災地支援に取り組みました。義援金など被災地へのご支援をいただきました多くの市民の皆さんに改めて感謝申し上げます。

このような中、今後も、本会が新たな時代の要請に応えていくためには、本会の将来にわたる自立的かつ安定的な運営が必要であることから、本会の目指すべき方向を示すとともに組織基盤、財政基盤を適正化することを目的として、社協発展強化計画の名称を変更し「茅野市社協中期経営計画」（2024年度～2027年度）として策定をしました。この中期経営計画の推進にあたっては、既存事業の見直しや新しい分野の事業展開を図ると同時に、必要に応じて組織そのものの変革等、社協が有する経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）の計画的投入、再分配を行い、速やかに施策（戦術）を具体化させてまいります。

こうした取組をする中でも、多様な「地域生活課題」の解決を支援するためには、福祉分野はもとより、幅広い分野との連携・協働が不可欠であり、地域づくりに関しても、これまで培ってきた地縁型組織を中心とした地域福祉活動等をさらに発展させ、多様性のある地域をめざす必要があります。

そのためには、本会は、本会だけで、あるいは限られた住民だけで事業・活動を推進するものではなく、これまで以上に、より開かれた組織、より多様な人や機関・団体とつながり続ける組織となり、「連携・協働の場」としての機能を発揮するとともに、本年度実施しました84の事務事業に対する評価結果を踏まえた業務改善への取組を加速化させ、それぞれの「地域生活課題」に対し具体的に取り組むことで、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざし、「地域住民等」の期待に応えられるよう努めてまいります。

Ⅱ 令和5年度 事業報告

1 法人・地域福祉推進事業

(1) 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算等を定め、決算や監査など本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、広報紙「やらざあ」やホームページ、Facebookを活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行いました。

「第2次茅野市社協発展強化計画」が令和5年度で終了したため、今後も、茅野市社協が新たな時代の要請に応えるためには、本会の将来にわたる自立的かつ安定的な運営が必要であることから、目指すべき方向を示すとともに組織基盤、財政基盤を適正化することを目的として、令和5年度に「茅野市社会福祉協議会中期経営計画」を策定し、計画を踏まえた令和6年度の事業計画・予算としています。

① 管理運営事業

令和5年度決算	81,921,400 円	(前年度比 20,130,172 円)
令和4年度決算	61,791,228 円	

(ア) 経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	出席数	主な内容
5月24日(水)	経営委員会 (第1回)	7人	第1回理事会提出議案の検討
6月8日(木)	理事会 (第1回)	9人 (監事1人含む)	令和4年度事業報告、決算報告等 8議案
6月12日(月)	評議員選任・ 解任委員会	3人	評議員の選任 1議案
6月23日(金)	評議員会 (第1回)	11人 (理事4人含む)	令和4年度事業報告、決算報告等 3議案
7月6日(木)	理事会 (第2回)	10人 (監事2人含む)	会長、副会長及び常務理事の選定等 2議案
8月17日(木) (※1)	理事会 (第3回)	10人 (※2)	評議員選任候補者の推薦等 2議案
8月22日(火)	評議員選任・ 解任委員会	3人	評議員の選任 1議案
3月1日(金)	経営委員会 (第2回)	7人	第4回理事会提出議案の検討 中期経営計画の策定について
3月12日(火)	理事会 (第4回)	11人 (監事2人含む)	令和6年度事業計画、予算等 7議案
3月27日(水)	評議員会 (第2回)	10人 (理事4人含む)	令和6年度事業計画、予算等 3議案

※1 理事・評議員の書面同意により決議があったものとみなされた日

※2 書面同意のあった理事・評議員数

(イ) 定例監査の実施

5月23日(火)	令和4年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 役員・評議員研修等

開催日	内 容
12月8日（金）	諏訪ブロック社協役員及び職員合同研修会 テーマ：「子どもと若者の未来のために」 講 師：長野県社会福祉協議会 傳田 清 内 容：子ども達が輝くために社協ができること 参加者：理事・職員 計6人

(エ) 諸規程等の整備

種別	規程等	改正	施行日
規程	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程	一部 改正	令和5年6月1日
	日給職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程 指定特定相談支援事業及び児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業運営規程	一部 改正	令和5年10月1日
	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程	一部 改正	令和5年12月1日
	嘱託職員の給与等に関する規程 日給職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程	一部 改正	令和6年4月1日
規則	正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則	一部 改正	令和5年4月1日
要綱	ボランティアまちづくりセンター設置要綱	一部 改正	令和5年7月1日
	特定の委員会設置要綱	制定	令和5年9月1日
	電子データの訂正及び削除の防止に関する事務処理要綱	制定	令和6年1月1日
	シャララ・ほっとサービス事業実施要綱	一部 改正	
	パブリックリレーションズ委員会設置要綱	制定	令和6年4月1日
事業継続計画（BCP）の策定 ・社会福祉法人茅野市社会福祉協議会業務継続計画（第2版） ・相談支援事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続計画 ・相談支援事業所における自然災害発生時の業務継続計画 ・あすなろセンターにおける自然災害発生時の業務継続計画 ・西部ディサービスセンターにおける自然災害発生時の業務継続計画 ・居宅介護支援事業所における自然災害発生時の業務継続計画 ・訪問介護事業所における自然災害発生時の業務継続計画			

(オ)職員採用

業務が円滑に執行できるよう年間を通して職員募集を行っていますが、職員が充足しない状況にあります。ハローワーク以外の媒体を活用した職員募集も行いました。

応募等の状況

応募者数	17 人
採用者数	10 人
不採用者数	4 人
採用辞退者数	3 人

(カ)職員研修

職員の成長と組織の発展につなげるため、目指すべき職員像や組織的な取組の方策など基本的な考え方を明示した「茅野市社協人材育成基本指針」に基づき、職員研修を実施しています。

長野県社協福祉人材センター福祉職員生涯研修を活用し、職層に応じた研修を行いました。

また、職員のスキル向上を図るため、職員の資格取得支援制度を活用した資格取得の促進、業務に関係する専門的な研修に参加し、研修終了後の振り返りや職場内への伝達・報告を通じ、組織力の向上につなげました。

研修参加状況

参加研修数	26 件
参加職員数（延べ）	87 人

職員の資格取得支援制度の利用状況

・介護支援専門員（1名）

(キ)社協発展強化計画の進行・管理

令和元年度（令和2年2月）に策定した「第2次茅野市社協発展強化計画」を推進する中で、社協の持続可能な経営のため「財政健全化・経営安定化に向けた改革プラン」を策定し、令和6年度までの3年間で事業・組織体制を見直すこととしました。

令和5年度は、令和4年度に実施した「事業の棚卸」を踏まえ、「事務事業評価」を実施し、目的・目標を明確にしながら、事業や事務の実施によって得られた結果を評価し、次年度の事業計画、予算に反映しました。

事務事業評価の結果状況

事務事業評価実施件数 84 事務・事業

事務事業評価の結果状況

格付	評価の定義	件数
A	計画通りに事業を進める	34
B	事業の実施方法やコストの投入等について改善を要する	45
C	事業の休止・廃止を検討する	2
評価対象外	広域的事業や令和4年度に実施した事業の棚卸結果を受け続けた事業	3

(ク) 社協会費の収納

社協活動への理解と参加を促進するため、住民会員制度をとり、社協活動に理解・賛同いただくなかで、社協会費を納めていただいています。

世帯（個人）の社協会員会費は、区・自治会の協力により、広く市民から納めていただいています。が、会員数（会費収入）は、減少しています。

ホームページ、広報紙「やらざあ」により社協活動を理解・賛同いただくよう積極的に情報発信をして会員数の増加に努めています。

社協会員種別・会費

世帯（個人）の会員			法 人 会 員
普 通 会 員	賛 助 会 員	特 別 会 員	
1,000 円	2,000 円	3,000 円以上	3,000 円以上

社協会員・会費実績

			令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
世帯（個人）の会員	普 通 会 員 (1 円～1,999 円)	会 員 数	7,350 世帯	7,294 世帯	6,965 世帯
		会 費	7,261,278 円	7,185,204 円	6,861,777 円
	賛 助 会 員 (2,000 円～2,999 円)	会 員 数	296 世帯	279 世帯	272 世帯
		会 費	592,000 円	558,000 円	546,010 円
	特 別 会 員 (3,000 円以上)	会 員 数	187 世帯	169 世帯	156 世帯
		会 費	681,000 円	564,000 円	517,000 円
	合 計	会 員 数	7,833 世帯	7,742 世帯	7,393 世帯
		会 費	8,534,278 円	8,307,204 円	7,924,787 円
法 人 会 員 (3,000 円以上)		会 員 数	102 団体	118 団体	145 団体
		会 費	555,770 円	586,330 円	706,000 円
会費合計			9,090,048 円	8,893,534 円	8,630,787 円

世帯（個人）の会員の地区別実績

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	会員数 (世帯)	会 費 (円)	会員数 (世帯)	会 費 (円)	会員数 (世帯)	会 費 (円)
ち の	1,394	1,588,724	1,381	1,542,722	1,253	1,403,723
宮 川	1,446	1,581,130	1,463	1,587,030	1,342	1,467,863
米 沢	440	481,450	443	473,900	430	463,270
豊 平	917	951,500	897	933,900	932	954,020
玉 川	1,609	1,701,431	1,588	1,637,820	1,553	1,613,419
泉 野	358	377,460	344	361,132	350	363,611
金 沢	490	525,000	467	506,250	453	486,800
湖 東	438	473,283	413	440,950	363	390,581
北 山	506	537,500	502	537,000	498	523,000
中大塩	232	306,800	244	286,500	217	251,500
地区外	3	10,000	0	0	2	7,000
合 計	7,833	8,534,278	7,742	8,307,204	7,393	7,924,787

(ケ) 寄附の受付

寄附金や遺志金、寄附物品を受付、寄附の記録を行い適正に管理しました。

寄附の実績

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数 (件)	金 額 (円)	件数 (件)	金 額 (円)	件数 (件)	金 額 (円)
寄 附 金	26	2,253,885	32	17,006,576	42	1,547,172
遺 志 金	0	0	9	740,000	4	1,470,050
寄 贈 (※1)	0	0	1	1,600,000	0	0
その他の寄附 (※2)	44	—	67	—	54	—
合 計	70	2,253,885	109	19,346,576	100	3,017,222

(※1) 会計処理が必要な100,000円以上の寄贈品の相当額

(※2) 食料品、清拭布、紙おむつ、生理用品等の寄附

(コ) 税額控除対象法人証明の申請

租税特別措置法に規定する個人寄附者に対する所得税の税制優遇措置として「税額控除制度」が、茅野市社協への寄附金・社協会費にも適用されるよう、税額控除対象法人の証明を所管庁である茅野市から受けています。

税額控除制度は、小口寄附の寄附者への減税効果が高く、新たな寄附者やこれまで以上に多くの寄附金を支出する寄附者が増えることが期待されます。

- ・ 証明書交付日：令和5年2月1日
- ・ 有 効 期 間：令和5年2月1日～令和10年1月30日
- ・ 控除額の計算：(税額控除対象寄附金－2,000円) × 40%

② 広報・啓発事業

令和5年度決算	1,447,041円	(前年度比 867,041円)
令和4年度決算	580,000円	

(ア) 広報紙の発行

広報紙「やらざあ」の年6回の定期発行を通じ、社協活動や地域福祉活動の情報発信を行いました。市民に伝わりやすい紙面となるよう「やらざあ編集委員会」で検討を重ね発行しました。なお、「やらざあ編集委員会」は、令和5年度をもって解散しました。

出前福祉教室の実施内容を「がっこう×^{カケル}ふくし」として、広報紙「やらざあ」に毎号特集記事を掲載しております。

号	特集記事・主な内容
4月号	ボランティア活動助成金の募集、赤い羽根共同募金の報告
6月号	サマーチャレンジ2023の案内、茅野市社協事業計画と予算
8月号	「清々しい三校の輪」地域美化活動の紹介、茅野市社協事業報告と決算
10月号	サマーチャレンジ2023の開催、役員改選及び紹介
12月号	移送サービス運行協力員募集、社協会費の報告
2月号	ボランティア・市民活動交流会、福祉教育の紹介、社会福祉大会の報告

(イ) ホームページ等による情報の発信

ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めました。

令和5年度は、広報紙「やらざあ」に掲載した記事の内容を動画として作成、Facebook への投稿を行い、福祉活動の積極的な情報発信に努めました。

(ウ) 第60回茅野市社会福祉大会の開催

社会福祉大会は、茅野市の保健・医療・福祉・教育等の関係機関や団体、一般市民が一堂に集まり、お互いの活動の理解や交流を通じて連携強化を図ることを目的に開催します。

開催日	内 容
11月25日(土)	テーマ：「ともに生きる豊かな地域社会の実現をめざして」 会 場：マリオローヤル会館 第1部：社会福祉貢献者表彰 第2部：鼎 談 「持続可能な地域福祉の推進を考える」 登壇 原田 正樹氏、田子 直美氏、福島 太晴氏 両角 達平氏、今井 敦会長 参加者：地区関係者・表彰者・理事・評議員・職員 約100人

(エ) 表彰関係（表彰審査委員会）

茅野市社会福祉協議会表彰規程に基づき表彰審査委員会を開催し、表彰者を選考、社会福祉大会において表彰を行いました。

開催日	表彰等対象者
9月26日(火)	表彰の対象 ・本会の役員又は評議員として通算8年以上在籍し、退任した者。 1名 ただし、茅野市職員としての役職により選任された者を除く。 (第2条第2号) ・民生児童委員又は主任児童委員として3期(9年)以上在籍し、 6名 退任した者。(第2条第3号) ・地区社協会長として4年以上在籍し、退任した者(第2号第4号) 1名 ・社会福祉活動が特に優秀な地区社会福祉協議会(第2号第5号) 1団体 ・ボランティア活動に貢献し、特にその功績が堅調な者、グループ、 4団体 団体、学校、社会福祉施設、企業等(第2号第6号) 感謝の対象 ・本会の社会福祉事業のため10万円以上相当額の金品を寄附した 5名 者(第3条第1号) (3団体) ・本会の賛助会員又は特別会員として通算10年以上会費を納めた 16名 者又は団体(第3条第3号) ・本会の社会福祉事業で功績が特に顕著と認められる者又は団体 7名 (第3条第4号) (3団体)

(2) 小地域福祉活動推進・支援事業

「誰もが心豊かに安心して暮らせる支え合いのまち」を目指して、身近な地域で支え合える地域づくりの推進に取り組みました。また、積極的なアウトリーチを行い、地域住民や民生児童委員、福祉推進委員等からの相談に対応し、生活課題等を解決できるよう支援を行いました。

① 小地域福祉活動推進事業

令和5年度決算	48,101,636 円	(前年度比 2,003,694 円)
令和4年度決算	46,097,942 円	

(ア) 地区社会福祉協議会活動の支援

住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援に取り組みました。

主な活動内容

・第3次地区地域福祉行動計画の推進 ・地区ボランティア活動費、福祉推進委員活動費の助成 ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催 ・戦没者等追悼式の開催	・情報紙の発行 ・高齢者等の昼食会や配食、世代間交流活動 ・赤い羽根共同募金活動 ・生活支援体制整備事業への参画 など
--	--

(イ) 福祉推進委員活動の支援

地域における支え合い活動をはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

活動内容

項 目	開催日・回数	主な内容
茅野市福祉推進委員研修会の開催	3月2日（土）	会 場：茅野市役所8階大ホール 第1部：「福祉推進委員の役割ってなに？ ～その背景と必要性について～」 【茅野市地域福祉課】 第2部：「福祉推進委員が地域のみなさんとともに進める地域のふくし～」 【茅野市社会福祉協議会】 講 演：「福祉推進委員になったけれど…～今求められているもの～」 講 師：片桐 美登氏（地域サロン代表・元駒ヶ根市社会福祉協議会事務局次長） 唐木 雅彦氏（南箕輪村社会福祉協議会事務局次長） 登壇者（福祉推進委員経験者）：安達 和男氏（玉川緑区） 立石 順一氏（宮川高部区）
福祉推進委員連絡会の開催	31回	活動や課題の情報交換、各地区の講演会、研修会の開催支援
各区・自治会の取り組みへの支援	56回	地域懇談会の開催支援、福祉活動、支え合い活動への相談対応や取組支援

(ウ)住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーがひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問し、支援を必要とする人の存在とその課題の早期発見、また、課題を抱えた人が必要なサービスを利用しやすくするための援助など課題解決に向けて取り組みました。

活動内容

項 目	件数
個別訪問活動と相談・支援	3,921件
個別の相談・支援に関わる連携	3,658件
地域福祉活動への支援	709件

(エ)「こんにちは！社協です！」の発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消、安否確認、情報提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しています。市内郵便局と連携することで、地域の見守りや安心なまちづくりの充実を目指しています。

郵便局員に対象者へお便りの手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気づいたことや心配なことがあった場合は、担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただいています。

発送実績

発 送 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月	総数
発 送 数	448通	448通	443通	445通	1,784通
郵便局員からの情報数	2件	7件	8件	12件	29件

(オ)茅野市社協「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、ボランティア活動や地域福祉活動の情報を発信しました。

(カ)生活支援体制整備事業

茅野市高齢者・保険課や地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターと協力しながら、地域で高齢者が自立した日常生活を送るためのサービスの検討や高齢者への見守りや支え合い等の活動の支援を行いました。

地域の現状や課題を共有し、今後、地域が目指す姿や地域の支え合いのためにできることなどを話し合う地域懇談会を開催しました。諏訪中央病院の医師や専門職をはじめ、区長・自治会長、福祉推進委員、ボランティア等と協力して行い、コロナ以降で人との交流や関りが減少した生活や健康面への不安など、地域の現状を共有しながら地域の課題や自分たちの地域のこれからなどについて話し合う機会となりました。

主な活動内容

- ・地域懇談会の開催
- ・生活支援サービス開発への相談、支援
- ・事業や生活支援コーディネーターの役割の周知と広報
- ・地域における支え合い活動の情報収集と情報発信

② 福祉団体助成事業

令和5年度決算	3,154,891 円	(前年度比 47,751 円)
令和4年度決算	3,107,140 円	

(ア) 福祉団体助成

地域における社会福祉活動を推進するため、茅野市内で地域福祉活動を行う関係団体に対し、助成金を交付しています。

令和5年度は、交付要綱に規定する助成対象団体のうち、4団体に交付しました。

助成団体	助成金額
茅野市民生児童委員協議会	100,000 円
茅野市ボランティア連絡協議会	50,000 円
茅野市社会を明るくする運動実施委員会	80,000 円
茅野南諏分区保護司会茅野市支部	45,000 円

(イ) 社協会費交付

社協会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて、交付金を地区社協へ交付しました。

地 区	交 付 額	地 区	交 付 額
ち の	449,944 円	泉 野	166,420 円
宮 川	412,372 円	金 沢	142,160 円
米 沢	233,654 円	湖 東	207,716 円
豊 平	427,204 円	北 山	271,600 円
玉 川	532,283 円	中大塩	49,500 円
交 付 額 合 計			2,892,853 円

(3) 相談・生活支援事業

市民からの様々な相談に応じて、公的制度では十分に対応することができないニーズに対する支援を実施しました。

① 総合相談事業

令和5年度決算	487,439 円	(前年度比 267,439 円)
令和4年度決算	220,000 円	

(ア) 結婚相談

相談員が結婚を希望される方の相談に応じて、登録者の中から一緒にお相手を探します。

令和5年度から、長野県婚活支援センターが運営する「ながの結婚マッチングシステム」を導入し、お相手探しやマッチングを容易にしました。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室

- ・相 談 員：委嘱した結婚相談員 6名

相談実績等

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数 (新規)	男性	67人 (16人)	43人 (14人)	38人 (9人)
	女性	26人 (3人)	17人 (7人)	13人 (4人)
	合計	93人 (19人)	60人 (21人)	51人 (13人)
相談件数	男性	54件	40件	23件
	女性	26件	15件	15件
	合計	80件	55件	38件
本人来所率		91.3%	94.5%	100.0%
成 婚 数		1件	1件	0件

(イ) 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相 談 員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）

相談件数

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
開設日数		11日	9日	12日
相談件数		28件	22件	31件
対応	解 決	25件	14件	21件
	他機関を紹介	2件	2件	2件
	その他	1件	6件	8件

② シャララ・ほっとサービス事業

令和5年度決算	453,780円	(前年度比 △127,510円)
令和4年度決算	581,290円	

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

令和5年度利用実績

	高齢者世帯	障害者(児)のいる世帯	子育て中の世帯
状 況	足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、退院後間もない方など	心の病(うつ病、統合失調症等)を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方、重度障害児を育てる家庭など	片親家庭の家事支援など
援助内容	掃除、買い物、洗濯、話し相手、可燃・不燃・リサイクルごみ出し、薬の受取り、代行手続き、院内介助、散歩介助など	掃除、可燃・不燃ごみ出し、買い物、話し相手、院内介助など	調理など
利用世帯数	23世帯	8世帯	1世帯
利用回数	231回	113回	4回
延べ利用時間	280.5時間	130時間	8時間

登録状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員数(新規)	33人(11人)	51人(17人)	57人(6人)
協力会員数	18人	19人	20人

③ ひとり暮らし安心コール事業

令和5年度決算	175,430円	(前年度比 17,430円)
令和4年度決算	158,000円	

ひとり暮らし高齢者と定期的に電話によるコミュニケーションをとることにより、電話をした時点での利用者の安否確認、健康状態及び生活状況の確認をするとともに、孤独感の解消を図り、情報をキャッチする場となり、もって利用者の在宅生活の向上を図ることを目的として実施しました。

- ・事業内容：最大週2回利用者の希望する曜日の時間に協力員より電話をかける
- ・協 力 員：9名(令和6年3月31日現在)
- ・対 象 者：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者

利用実績等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	18人	17人	18人

令和5年度通話実績(不在回数除く)

(回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	57	61	74	74	73	72	80	72	74	81	76	76	870

④ 一般介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

令和5年度決算	19,647,777 円	（前年度比 2,114,327 円）
令和4年度決算	17,533,450 円	

要介護状態等になるおそれの高い高齢者が要介護状態になるのを予防することを目的に高齢者福祉センター塩つぼの湯において通所型の介護予防事業を行っており、送迎・昼食・相談・運動や脳トレ、レクリエーション等の介護予防メニュー、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しています。

- ・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）
- ・利用時間：午前9時30分～午後2時30分

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延利用者数	1,812 人	2,133 人	2,333 人

令和5年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	52	57	56	57	56	55	56	57	57	56	57	54	
延利用者数	179	186	227	214	180	205	191	163	207	187	192	202	2,333

⑤ 外出支援事業（移送サービス）

令和5年度決算	6,360,371 円	（前年度比 △2,980 円）
令和4年度決算	6,363,351 円	

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

運行協力員15名とタクシー業者2社により実施しました。

また、安全に運行するため、運行協力員は運転者講習会に参加しています。（10月19日、23日、26日、参加者：10名）

利用実績等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	34人	33人	43人
新規利用者数	13人	7人	15人
延利用者数	2,374人	2,670人	2,701人

令和5年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	244	230	220	260	281	242	228	226	207	187	170	206	2,701

⑥ 配食サービス事業（おたっしや弁当）

令和５年度決算	16,218,745 円	（前年度比 436,719 円）
令和４年度決算	15,782,026 円	

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

- ・ 弁当代：570円（内個人負担350円）、おかずのみ：520円（内個人負担300円）
- ・ 委託業者：信州配食サービス

利用実績等

	令和３年度	令和４年度	令和５年度
延利用者数	2,922人	2,901人	2,808人
新規利用者数	117人	56人	149人
延配食数 （おかずのみ）	60,992食 (31,430食)	60,241食 (29,697食)	59,706食 (31,421食)

令和５年度利用状況

利用者（対象者）数	人 数		
	昼	夕	合計
65歳以上の独り暮らしの方	614 人	512 人	1,126 人
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	345 人	356 人	701 人
ひとり暮らしの障害者	76 人	195 人	271 人
寝たきりの人がいる２人世帯	0 人	0 人	0 人
その他 ①障害以外を理由とする方	237 人	233 人	470 人
③ 障害を理由とする方	121 人	119 人	240 人
合 計	1,393 人	1,415 人	2,808 人

対象者別の状況

対 象	利用時間	食 数	合計
障害者	昼	3,668 食	9,802 食
	夜	6,134 食	
高齢者	昼	25,054 食	49,904 食
	夜	24,850 食	

（４）権利擁護事業

① 日常生活自立支援事業

令和５年度決算	2,495,206 円	（前年度比 343,633 円）
令和４年度決算	2,151,573 円	

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野

県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員（専門員）のほか、生活支援員を2名を配置しています。生活支援員は、利用者の訪問を中心に預貯金の払い戻しや福祉サービスの利用料等の支払い、金銭の受け渡し等の実務を行い、専門員と連携しながら利用者の抱える課題の解決を図ると共に、事業の普及・啓発に努めています。

利用実績等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用援助回数	783件	737件	569件
契約件数（※）	35件	26件	20件
茅野市	33件	24件	18件
原 村	2件	2件	2件
新規契約件数	3件	1件	3件
解約数	2件	10件	9件

※契約件数は、各年度3月31日現在の件数

※原村については、協力社協として原村社協職員と連携して対応しています。

② 法人後見事業

令和5年度決算	840,000 円 （前年度比 △225,030 円）
令和4年度決算	1,065,030 円

茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務（財産管理や身上監護）を行い、高齢者や障害者の権利擁護を図ることを目的に支援活動に取り組みました。

利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法人後見件数	6件	6件	5件
うち新規受任件数	1件	0件	0件
うち後見終了件数	0件	1件	0件
後見活動内容	日常生活に係る金銭管理、入院時の日用雑貨購入等に伴う金銭管理、施設入所契約 ほか		

③ 茅野市・原村成年後見支援センター

令和5年度決算	7,813,000 円 （前年度比 △1,234,000 円）
令和4年度決算	9,047,000 円

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者（認知症高齢者を含む）が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及、啓発、相談、その他、円滑な制度利用促進のための支援等を行っています。

利用実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	348件	98件	83件
新規	50件	25件	50件
継続	298件	73件	33件
審判申立支援件数	14件	8件	7件
審判確定	6件	4件	0件
継続相談	8件	4件	7件
後見人候補者調整件数 (法定後見選任)	6件 (6件)	3件 (3件)	2件 (0件)

会議・研修等

会議・研修	開催日・回数
諏訪圏域成年後見制度利用促進体制整備の推進に係る関係者会議	9/26・11/29・3/18
諏訪圏域成年後見支援センター連絡会	11回
諏訪圏域成年後見スキルアップ研修	11/29・3/6
成年後見制度利用促進に基づく中核機関の受任調整会議（報告会）	1/16

（５）生活困窮者支援事業

新型コロナウイルスの影響で社会生活が大きく変化する中、引き続き就労収入の減少による生活費の貸付相談が多く寄せられました。また、コロナ特例貸付の終了後は、通常的生活福祉資金の貸付相談が増えています。今後は特に家計改善など、借受世帯に対する生活支援が重要になります。

① 生活福祉資金貸付事業

令和5年度決算	649,200円	（前年度比　△2,644,300円）
令和4年度決算	3,293,500円	

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金の貸付を行い、世帯の自立を支援しました。

コロナ特例貸付が令和4年9月に終了し、令和5年1月から償還がはじまりました。貸付は終了しましたが、引き続き、茅野市地域福祉課に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携し、償還指導および家計相談支援を毎月実施することで、借受者の家計改善に努めました。

また、生活福祉資金貸付事業の担当国会議や研修会への参加、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

貸付実績

資金名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）
総合支援資金	0件	0円	3件	254,000円	0件	0円
福祉費	0件	0円	2件	2,550,000円	2件	277,830円
緊急小口資金	1件	100,000円	3件	254,000円	8件	800,000円
教育支援資金	0件	0円	1件	907,000円	1件	444,000円
合計	1件	100,000円	9件	3,965,000円	11件	1,521,830円

② 暮らしのつなぎ資金貸付事業

令和5年度決算	0 円	(前年度比 △40,000 円)
令和4年度決算	40,000 円	

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時的な生活のつなぎ資金を必要とする場合に短期の無利子融資を行い自立を支援しています。

- ・貸付限度額：40,000円
- ・返済期間：6ヶ月以内

貸付実績

資金名	令和3年度貸付		令和4年度貸付		令和5年度貸付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	0件	0円	1件	40,000円	0件	0円

③ 生活困窮者自立支援事業

令和5年度決算	11,654,667 円	(前年度比 642,171 円)
令和4年度決算	11,012,496 円	

生活困窮者自立支援法に基づき茅野市社会福祉課に設置している「まいさぼ茅野市」に2名の職員が出向し、生活困窮者の相談支援業務に従事しています。

また、家計改善事業を茅野市から受託し、家計に課題を抱える対象者の相談支援の実施、長野県社協が実施する『あんしん創造ねっと』に加入し、各種事業の利用により既存の制度やサービスでは対応できない個別課題に対する支援を実施しました。

家計改善支援事業実績

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援世帯数	13世帯	9世帯	16世帯

あんしん創造ねっと利用実績

事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入居保証・生活支援事業	4件	5件	3件
身元保証・就労支援事業	0件	0件	0件
医療受診支援事業	0件	1件	0件
買い物等同行支援事業	0件	0件	0件
地域住民との協働活動支援事業	0件	0件	0件

④ 『一握りのお米 支援米』の取り組み

不況やリストラ、倒産などの様々な事情により生活に困窮する市民に配分するため、お米の一部を備蓄しています。

- ・取組期間：10月2日から12月1日まで
- ・支援米：1,201kg（前年度比67%）
- ・ご協力いただいた方々：2団体、27個人
- ・送付先：市内の生活困窮世帯（社協備蓄分）、子ども食堂等を運営する支援団体

⑤ フードドライブの取り組み

家庭で使いきれない未使用食品（缶詰、レトルト食品、乾物、調味料、菓子等）などを社協へ寄付いただきました。寄付いただきました食品は、市内の生活に困窮する世帯、まいさば茅野市へ配布しています。

フードドライブ実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人	12人	35人	43人
団体・企業等	2団体	7団体	7団体
寄附品数	1,447品	563品	745品

（6）ボランティア・市民活動推進事業

① 茅野市社協ボランティアまちづくりセンター事業

令和5年度決算	1,311,812円	（前年度比 789,194円）
令和4年度決算	552,618円	

「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進していくため、ボランティア・まちづくりの推進、福祉教育の推進に向けた取組を行いました。

「ふくし」を我が事として考えるきっかけづくりとして、学校や地域における福祉教育を実施しました。また、ボランティア活動団体や活動者からの悩みや相談に応じながら、活動状況を把握し、活動の継続や活性化への支援に取り組みしました。

（ア）出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすや疑似体験、ガイドヘルプ体験等を通して、児童や生徒、先生方と一緒に『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

開催実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催数	29回	29回	50回
開催学校数	7校	7校	11校
延参加者数	538人	725人	1,210人

(イ) 社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として、各校に 30,000 円の補助金を交付しました。

令和 5 年度 各校の活動内容

学校名	活 動 内 容
永明小学校	・ 交流を楽しもう（姉妹学級とペアになり、ウォークラリー）
宮川小学校	・ 赤い羽根共同募金 ・ 児童会行事「なかよしオリンピック」
米沢小学校	・ 特別支援学級 自立活動交流（迷路遊び） ・ 特別支援学級 よねりん福祉バザー ・ 副学籍児童（諏訪養護学校）交流 ・ 車いすバスケット体験
豊平小学校	・ 赤い羽根共同募金 ・ ケアホーム豊平訪問 ・ 出前福祉講座 ・ 障がい者疑似体験
玉川小学校	・ 保育園との交流 ・ 梅林管理ボランティアの皆さんとの交流（梅もぎ、梅漬け体験・収穫祭への招待） ・ 福祉体験学習「ボッチャ」から学ぼう
泉野小学校	・ 赤い羽根共同募金活動 ・ 書き損じはがき収集 ・ 地域に住む障がいのある方との交流・学習・感謝の気持ちを表す ・ なかよし週間における友達が笑顔になるメッセージの掲示 ・ アルミ缶収集による令和 6 年能登半島地震募金活動
金沢小学校	・ 出前福祉教室 ・ 人権講演会 ・ みんなで花を育てよう
湖東小学校	・ 出前福祉教室
北山小学校	・ 出前福祉教室「福祉週間」 ・ 北部中学校区特別支援学級クリスマス交流 ・ お世話になった先生との交流
永明中学校	・ 高齢者疑似体験
長峰中学校	・ 校地奉仕活動及び花壇づくり（校地内の花壇の環境整備・ゴミ拾いなどの奉仕活動）
北部中学校	・ 視覚障害の方のガイドヘルプ体験

活動実績

(回)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	地区	区 自治会	地区	区 自治会	地区	区 自治会
総会・役員会等の開催	21	24	21	3	13	5
いきいきサロンの開催	11	3	0	9	4	16
宅配（配食）弁当・菓子配布	8	14	2	14	5	15
研修・学習会の開催	1	1	2	0	2	0
世代間交流会の開催	0	1	0	0	0	2

(オ) ボランティア・市民活動助成金の交付

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。

交付実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請団体数	25 団体	20 団体	18 団体
交付決定額	887,000 円	702,600 円	659,906 円

(カ) ボランティア活動相談・コーディネート

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

相談実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	17 件	40 件	38 件

備品の貸し出し件数（団体数）

備品名	貸出件数
福祉教室用福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど）	34 件
車いす	85 件

(キ) ボランティア保険加入、保険請求事務

ボランティア活動者が安心して活動に取り組めるよう、ボランティア保険の加入促進を図りました。

ボランティア保険加入・保険請求の状況

	件 数	人 数
保険加入	193件	5,478人
保険請求（保険金給付）	2件（2件）	—

(ク) 諏訪ブロック社会福祉協議会 ボランティア交流研究集会

ボランティア活動者同士のつながりや、ボランティア活動の活性化を目的に 6 市町村社協で毎年開催しています。令和 5 年度は諏訪市を会場に、長野県まちづくり・ボランティアフォーラムと合同開催となり、分科会の一つとして誰もが楽しめるルールでボッチャを実施しました。地区や各行政区のボランティアの会、市内のボランティア活動団体に参加していただき、ボランティア同士のつながりを深めました。

実施日	会 場	参加者	内 容
12 月 2 日（土）	長野県福祉大学	68 名(6 市町村延人数)	誰もが気軽に楽しめるよう簡単なルールを用いて、ボッチャのリーグ戦を行う。

(ケ) どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成 14 年 3 月にベルビア 1 階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、運営管理を行っています。令和 5 年度は、「ボランティアグループどっこいしょ」が年間を通して月 1 回の活動を続けています。また、掲示板やカタログスタンドを活用して、ボランティア活動・市民活動の情報発信が行われています。

(7) 共同募金配分事業

令和 5 年度決算	4, 020, 208 円	(前年度比 △282, 566 円)
令和 4 年度決算	4, 302, 774 円	

赤い羽根共同募金運動の募金実績により、地域助成として長野県共同募金会から茅野市社協に交付された配分金を、地域の福祉活動に還元（配分）しています。

配分実績

配分先	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
茅野市社会福祉協議会	1, 003, 000 円	1, 071, 400 円	986, 094 円
小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動	450, 000 円	420, 000 円	420, 000 円
地区社会福祉協議会（10 地区）	2, 146, 974 円	2, 073, 774 円	1, 954, 208 円
市内ボランティアグループ	817, 000 円	702, 600 円	659, 906 円
災害援護金	70, 000 円	35, 000 円	0 円
合 計	4, 486, 974 円	4, 302, 774 円	4, 020, 208 円

2 居宅介護等事業

(1) 居宅介護支援事業

令和5年度決算	8,115,068 円	(前年度比 △3,988,363 円)
令和4年度決算	12,103,431 円	

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅での生活を送れるよう支援しました。

居宅介護支援実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援	675 件	858 件	551 件
介護予防支援	31 件	108 件	15 件
合計	706 件	966 件	566 件

月別状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅介護	54	35	33	32	31	36	45	50	52	58	59	66	551
介護予防	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	15
合計	56	37	35	34	33	37	46	51	53	59	59	66	566

(2) 訪問介護事業

令和5年度決算	36,421,541 円	(前年度比 △2,047,803 円)
令和4年度決算	38,469,344 円	

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し、「訪問介護計画書」に沿って安心して在宅生活を送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

介護保険（訪問介護）実績

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
要介護	実人数	52 人	47 人	47 人
	延利用者数	7,035 人	6,827 人	7,365 人
要支援	実人数	22 人	23 人	25 人
	延利用者数	1,578 人	1,451 人	1,697 人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	43	45	43	41	46	48	49	48	50	48	49	51	
	延利用	578	625	590	594	633	583	656	632	663	604	571	636	7,365
要支援	実人数	28	29	29	28	27	25	23	23	22	21	22	21	
	延利用	152	172	161	162	162	143	128	136	120	117	126	118	1,697

障害者サービス実績（延利用者数）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護	156人	164人	148人
同行援護	24人	14人	19人
移動支援	0人	0人	0人

(3) 西部デイサービス事業

令和5年度決算	52,018,015円（前年度比 △563,568円）
令和4年度決算	52,581,583円

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

西部デイサービスセンター利用実績

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
要介護	実人数	48人	49人	43人
	延利用者数	4,545人	4,227人	4,194人
要支援	実人数	11人	8人	8人
	延利用者数	733人	499人	459人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	44	43	43	43	44	45	45	45	44	40	40	40	
	延利用	323	357	374	354	382	373	376	369	335	294	318	339	4,194
要支援	実人数	10	8	9	9	8	7	8	6	6	7	6	6	
	延利用	50	41	45	49	51	37	42	27	29	33	29	26	459

主な行事

4月	お花見会	9月	敬老会	12月	忘年会
7月	納涼会	10月	紅葉見学		

3 障害福祉サービス事業

(1) 障害者相談支援事業

令和5年度決算	2,730,120 円	(前年度比 773,620 円)
令和4年度決算	1,956,500 円	

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児やその家族、市町村、病院等から障害福祉サービスの利用について相談を受けています。また、障害福祉サービスを利用される方には、その方のニーズに合った利用計画を作成します。必要な障害福祉サービスを利用できるように、ご本人や関係者が一堂に会しサービス調整会議を行い、利用開始後は数か月に1度、モニタリング会議を行って障害福祉サービス利用の振り返りを行います。

相談支援実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談契約者数	50 人	48 人	60 人
障害者	39 人	40 人	45 人
障害児	11 人	8 人	15 人
計画作成・モニタリング件数	142 件	128 件	163 件

(2) 就労継続支援B型事業(あすなろセンター)

令和5年度決算	32,745,628 円	(前年度比 △5,668,537 円)
令和4年度決算	38,414,165 円	

あすなろセンターにおいて、障害のある方で雇用契約に基づく就労が困難である方に就労の場として様々な作業を提供しています。また、社会生活の場を広げ、地域の方との交流や季節に合わせた余暇活動など提供しています。さまざまな活動を通して仲間との関わりや交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持を目指した活動を行いました。

安定した施設の運営のため給付金収入を確保するには、前年度の利用者の月額工賃を維持または増額となるように努めることも大切ですが、ご家族支援や他のサービスを併用する必要もあり、1日当たりの通所者数が減少しない工夫が求められます。

利用実績（定員 20 名）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	18 人	20 人	16 人
延利用者数	216 人	216 人	197 人

※登録者数は各年度の3月31日現在の人員数

主な作業内容

・ボカン製造・販売 ・寒天袋詰め作業 ・ゴム製品検品 ・薪の箱詰め ・にんにくの皮むき作業	・諏訪合同庁舎清掃 ・上古田区公民館清掃作業 ・赤い羽根作業 ・介護お役立ちガイドブック印刷・製本
---	--

就労支援事業の状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
取引業者数		12 事業者	14 事業者	13 事業者
事業収支	総収入額	2,735,057 円	3,469,809 円	2,611,982 円
	必要経費	176,360 円	875,172 円	159,718 円
	実質収入額	2,558,697 円	2,594,637 円	2,452,264 円
平均工賃（月額）		12,013 円	12,012 円	14,291 円

主な行事

5 月	昼食会	12 月	クリスマス会
7 月	納涼祭・昼食会	1 月	お正月遊び
10 月	ミニ運動会	3 月	昼食会
11 月	避難訓練		

（3）日中一時支援事業

令和5年度決算	76,501 円 （前年度比 △96,061 円）
令和4年度決算	172,526 円

一時的に見守り等の支援が必要な障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護しているご家族の一時的な休息を目的に令和4年6月から事業を開始しました。

事業に携わる支援員を地域の方をお願いすることで、あすなろセンターと地域を結びつけながら事業を展開しました。

利用実績

	令和4年度	令和5年度
実人数	4 人	4 人
延利用者数	58 人	283 人

4 その他事業

(1) 赤い羽根共同募金

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

① 茅野市共同募金委員会の運営

(ア) 運営委員会の開催

開催日	出席者数	主な内容	備考
5月29日(月)	30	・令和4年度事業報告・決算 ・運営委員の選任	
9月5日(火)	32	・運営委員の選任 ・令和5年度赤い羽根・歳末助け合い募金の要領について ・令和5年度運営委員会補正予算について	
3月7日(木)	35	・令和6年度事業計画・予算 ・運営委員の選任	

※書面による議案承認件数

(イ) 定例監査の実施

5月23日(火)	令和4年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 高額募金・永年募金者の表彰

高額募金	団体：2団体
永年募金	対象なし

② 赤い羽根・歳末助け合い募金運動

・募金期間：10月1日～12月31日

募金実績

令和3年度	令和4年度	令和5年度
7,880,774円	7,725,208円	7,442,066円

③ 災害援護金の交付

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しました。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付件数	8件	4件	0件
災害援護金総額	70,000円	35,000円	0円

④ 地区社会福祉協議会への配分

地 区	配 分 額	地 区	配 分 額
ち の	165,970 円	泉 野	108,976 円
宮 川	486,275 円	金 沢	181,583 円
米 沢	100,307 円	湖 東	285,732 円
豊 平	280,022 円	北 山	75,425 円
玉 川	194,762 円	中大塩	75,156 円
配 分 額 合 計			1,954,208 円

(2) 諏訪ブロック社会福祉協議会

岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の社会福祉協議会の相互連携による社会福祉の健全な発展、社会福祉活動の活性化、地域福祉の推進、役職員の資質の向上のため、諏訪ブロック社協を組織し、ブロック単位での事業を計画・実施しています。各年度持ち回りにより各市町村社協が事務局を担っています。

活動内容

開催日	会議等	内 容
5 月 9 日 (火)	事務局長・次長会議	・令和4年度事業報告・決算 ・令和5年度事業計画・予算
5 月 30 日 (火)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・サマーちゃれんじについて ・ボランティア・交流研究集会について
7 月 13 日 (木)	総会	・令和4年度事業報告・決算 ・令和5年度事業計画・予算 ・諏訪保健福祉事務所・県社協からの連絡
9 月 11 日 (月)	事務局長・次長会議	・ボランティア・交流研究集会について ・役職員合同研修会について
9 月 12 日 (火)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会について ・サマーちゃれんじ実施状況
12 月 2 日 (土)	ボランティア・交流研究集会	・ポッチャを通しての交流
12 月 8 日 (金)	役職員合同研修会	・講演会
1 月 12 日 (金)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会の振り返り ・情報交換
事務局当番 R5年度：原村、R6年度：諏訪市、R7年度：岡谷市 R8年度：下諏訪町、R9年度：富士見町、R10年度：茅野市		